

計画の名称	緑と潤いのある生活環境づくり												
計画の期間	平成30年度 ～ 令和04年度（5年間）											重点配分対象の該当	
交付対象	葛城市												
計画の目標	「葛城市緑の基本計画」内の「市街地における緑の確保と都市農地の保全」と「地域の魅力を支え、生かす魅力ある緑の不足」を解消するため、												
	「総合的な緑地の配置計画」に基づき、日常圏を対象とした公園を適正配置する。												
	地域内の交流を活性化するような計画的な配置により、子どもが安全・安心に遊べる空間を提供し、主に子育て世代などの人口増加を促進する。												
	また、整備する公園は緑化率を約80パーセント以上とし、温室効果ガスの吸収源対策を図る。												
	しあわせの森公園については、市内の地産地消を支える道の駅かつらぎと連動する観光資源として、植栽整備し、併せてのり面の保護及び強化を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	424	A	424	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H30当初)	(H32末)	(H34末)
1	緑化率80%を超える公園数の増加			
	公園数の増加	1箇所	2箇所	4箇所
	公園数の増加			
2	南花内公園・南花内公民館一体的に利用したイベントの増加			
	南花内公園・南花内公民館を一体的に利用したイベントの増加	0回	0回	2回
	年間の南花内公園・南花内公民館を一体的に利用したイベント数			
3	しあわせの森公園周辺エリア整備による、道の駅かつらぎの来客者数増加			
	道の駅かつらぎ来客者数	488282人	509324人	520000人
	道の駅かつらぎの年間来客者数			

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	葛城市	直接	葛城市	—	—	吸収源対策公園緑地事業（ 今在家地区ほか10地区）	彩り植栽の整備、公園整備に おける用地取得及び園路等の 整備	葛城市	■	■				102		—
	A12-002	公園	一般	葛城市	直接	葛城市	—	—	葛城市中部地区	彩り植栽の整備、公園整備に おける用地取得及び園路等の 整備	葛城市			■	■	■	246		—
	A12-003	公園	一般	葛城市	直接	葛城市	—	—	南花内地区	公園整備における用地取得及 び園路等の整備、公民館の彩 り植栽	葛城市			■	■		76		—
											小計							424	
										合計							424		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事業主管課により実施

事後評価の実施時期

令和5年度

公表の方法

市ホームページにて公開

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する

交付対象事業の効果の発現状況

吸収源に資する公園を整備することで、地域住民の交流の機会・場を創出できた。
遠くから視認性のいい花木を公園内に植栽することで、様々な客層を呼び込むことができ、各々のSNS等を通じて広報できた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

吸収源に資する公園については目標数整備することができたので、新たなニーズに応じて検討していく。
グリーンインフラに関わる事業については、地域の課題に応じて検討していく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	4箇所	
	最終実績値	4箇所	
2	最終目標値	2回	
	最終実績値	2回	
3	最終目標値	520000人	コロナ渦による外出自粛の影響により、客数が一時的に減少傾向になったため。
	最終実績値	501386人	

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H30	H31(R1)	R2	R3	R4
配分額(a)	10	32	57	72	20
計画別流用増△減額(b)	0	0	0	0	-1
交付額(c=a+b)	10	32	57	72	19
前年度からの繰越額(d)	0	0	0	28	9
支払済額(e)	10	11	29	91	28
翌年度繰越額(f)	0	21	28	9	0
うち未契約繰越額(g)	0	19	25	9	0
不用額(h=c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不要率(i=(g+h)/(c+d))%	0	59%	44%	9%	0%
未契約繰越率+不要率が10%を超えている場合その理由		公園用地の境界確定に時間を要したため	関係機関との協議に時間を要したため。		

